

ふくやま

議会だより

令和元年11月7日
兵庫県福崎町議会

第152号



福崎駅周辺整備事業完成式典 屋台練り披露

9月定例会	2
委員会報告	12
一般質問	16

大きく進んだ駅周辺整備、2つの観光交流センター建設

平成30年度各会計決算を認定

9月定例会は9月6日に招集され、27日までの22日間の会期で開きました。今定例会では、もちむぎ食品センター決算報告についてなどの報告3件、および、平成30年度一般会計、各特別会計、各企業会計決算認定についてなどの議案25件が上程されました。

決算認定は、議長と議会選出監査委員を除く全議員を委員とする決算審査特別委員会を設置し、4日間にわたり税金の収納状況や予算執行にあたっての問題点、今後の町政に生かすべき課題などについて、現地調査を含め、慎重に審議を行いました。

平成30年度一般会計決算の特徴

歳入（前年度比）

町税

個人町民税は納税義務者数が増え、356万円の増。法人町民税は中小企業優遇税制による一部中小企業の設備投資などで減。固定資産税は家屋で既存建物の評価替え、企業が平成28年中に設備投資を積極的に行い、平成29年中は控え

たため減。町税全体では7557万円の減。

他では、普通地方交付税と臨時財政対策債合わせて2261万円の増。町債（借入）は2億5434万円の増。

歳出（主な支出）



福島駅前観光交流センター



辻川観光交流センター



第1グラウンド整備事業



新町大井堰災害復旧工事



辻川界隈歴史・文化館

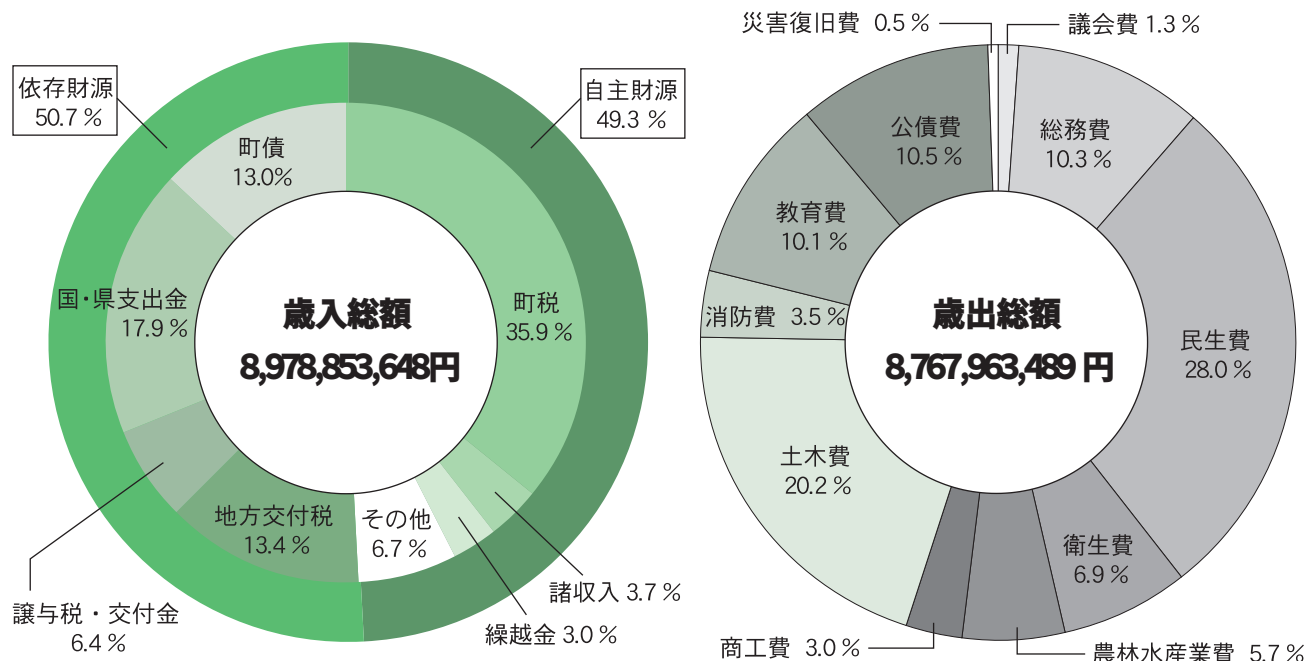


大貫山田線冠水対策工事



遠野市との児童交流事業

一般会計



平成30年度 一般会計・特別会計決算状況表

(単位：円)

項目 会 計	決 算 額			
	歳入(A)	歳出(B)	繰越額(C)	実質収支 (A - B - C)
一 般 会 計	8,978,853,648	8,767,963,489	51,088,000	159,802,159
国民健康保険	1,988,932,235	1,953,398,536	0	35,533,699
後期高齢者医療	263,751,433	259,058,406	0	4,693,027
介護保険	1,668,464,965	1,650,198,164	0	18,266,801
計	12,900,002,281	12,630,618,595	51,088,000	218,295,686

※繰越額…平成30年度に事業実施されなかったため、翌年度に実施することになった額。

平成30年度 公営企業会計決算状況

(単位：円)

	水道事業	工業用水道事業	下水道事業
営業収益	316,527,695	33,999,952	351,017,131
営業費用	390,003,939	40,581,656	841,334,030
営業損益	△ 73,476,244	△ 6,581,704	△ 490,316,899
営業外収益	106,919,642	13,248,690	674,384,432
営業外費用	13,554,185	1,546,277	160,675,488
経常損益	19,889,213	5,120,709	23,392,045
特別利益	3,870,000	0	0
特別損失	3,244,838	0	0
当年度純損益	20,514,375	5,120,709	23,392,045
前年度繰越利益剰余金	113,370,188	29,331,313	5,082,808
その他未処分利益剰余金変動額	239,824,926	0	0
当年度未処分利益剰余金	373,709,489	34,452,022	28,474,853

決算審査特別委員会

委員長 前川 裕量
副委員長 柴田 幹夫

決算審査特別委員会は9月10日から9月13日までの4日間開催され、慎重に審査した結果、各会計とも原案どおり認定すべきものと決定しました。委員会の中で出された主な質疑は次のとおりです。

実質単年度収支

実質単年度収支が約1億4000万円の赤字となっている。

財政調整基金を取り崩す当初予算が近年続いているが、今後の見通しなどはどうか。

町長

町は平成26年度から福岡駅周辺整備事業に取り組みました。今年度は実質単年度収支が赤字となりましたが、大型事業の実施にあたっては財政調整基金を活用して予算の平準化を図っています。基金を積み重ねる際には努力して積んでいきます。基金の推移は数年間の長い目で見るべきものと考えています。

一般会計の決算収支状況

区 分	平成30年度
歳 入 総 額 A	8,978,853,648 円
歳 出 総 額 B	8,767,963,489 円
歳入歳出差引額 (A - B) C	210,890,159 円
翌年度へ繰り越すべき財源 D	51,088,000 円
実 質 収 支 (C - D) E	159,802,159 円
前 年 度 実 質 収 支 F	215,111,960 円
単 年 度 収 支 (E - F) G	△ 55,309,801 円
財 政 調 整 基 金 積 立 金 H	1,200,000 円
繰 上 償 還 金 I	0 円
基 金 取 崩 し J	89,700,000 円
実 質 単 年 度 収 支 (G + H + I - J)	△ 143,809,801 円

一般会計財政調整基金の推移

(単位：円)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
年度内積立金	51,800,000	1,000,000	1,200,000
年度内取崩額	0	25,500,000	89,700,000
年度末現在高	1,375,100,000	1,350,600,000	1,262,100,000

町民税

個人町民税では、納税義務者数が前年度と同様に増え、納税額も増えているとあるが、具体的にはどうか。

税務課長

納税義務者数は、平成29年度当初賦課が9445人だったところ、平成30年度は9539人と、94人増加しています。近年は増加傾向が続いています。

農業費補助金

県補助金における農地維持支払交付金、資源向上支払交付金は、農地を守る上で有益な交付金であるが、今後の継続の見込みは。

農林振興課長

平成27年度に制度が法制化されましたので、今後も安定的に継続するものと考えています。

民生委員

民生児童委員活動費用弁償、民生協力委員への記念品の単価はいくらか。仕事が増えており、探するのが難しいと聞くが。

健康福祉課長

民生児童委員活動費用弁償は1

人あたり年間11万8000円です。

民生協力委員への記念品は1人あたり年間1万円のもちむぎ商品券を平成29年度からお渡ししています。都市部では定数に達していない自治体もある中、福崎町では充足しているところですが、なり手不足は深刻な課題です。

町長

民生委員には非常にお世話になっています。なり手不足については福崎町だけでなく、町村会でも必ず話題に上ります。待遇の改善については町村会でもよく協議し、国に要望すべきところは要望していければと考えています。

観光振興

観光関係で、多額の委託料や工事を妖怪・河童関係に投入してきた。これを町のにぎわいや潤いに結びつけなければならぬと思う。今後のビジョンはどのように考えているのか。

町長

昨今は妖怪や河童といえば福崎町と言われるほど福崎町の名前が全国に知られてきています。これを観光振興や町民の潤いにつなげていけるよう、妖怪ベンチやモニユメントの設置等によって観光客の増加を図り、消費拡大に努めます。



油坊（焼肉ハウス北山）

不登校問題

全国的に不登校が深刻な問題となっているが、当町での実態は。

教育長

平成30年度の不登校生は小学生が2名、中学生が18名でした。学級担任が家庭訪問を行い、子どもとの対面、保護者との教育相談を行い、個々の状況に応じて対応の中で学校復帰を目指しています。スクールソーシャルワーカーの配置、悩みのある保護者に月1回「親の会」の開催や適応教室などの対応をしています。学校に行きたくない子どもは1人もいないと思っています。

図書館前の駐車場

さるびあドーム利用者の駐車車両が図書館利用者用駐車場にも駐車されるため、図書館開館時点で既に図書館利用者が駐車できないケースが発生している。対応を考えていただきたい。

社会教育課長

さるびあドーム駐車場と図書館駐車場の境に車止めのポールを設置し、さるびあドームを利用する責任者には図書館の駐車場を利用しないよう徹底してもらっています。しかし、図書館開館後はどちらの利用者かの区別がつかず、大きな改善にはつながっていない状況です。



図書館前の駐車場

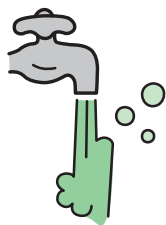
水道事業会計

給水原価1^mあたり
122円6銭に対し、
供給単価が1^mあたり
119円97銭で、約2
円のマイナスとなっ
ているが、要因は、

上下水道課長

給水原価は1^mあたり
実際にかった費用
で、供給単価は1^mあ
たりでどれだけの収益
が得られたかというも
のです。

平成30年度は水道事
業ビジョン及び経営戦
略の策定など、平成30
年度限定の特殊要因に
より年間の給水に係る
収益単価がマイナスに
なったというものです。



区分	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
配水総量		2,560,467 m ³	2,629,074 m ³	2,649,919 m ³
給水量		2,465,872 m ³	2,492,074 m ³	2,546,856 m ³
有収率		96.3 %	94.8 %	96.1 %
給水収益		292,237,296円	297,208,255円	305,548,968円
給水原価		144円16銭	155円12銭	158円89銭
		107円71銭	114円 1銭	122円 6銭
供給単価		118円51銭	119円26銭	119円97銭
給水戸数		7,879戸	8,044戸	8,104戸
年度純利益		43,047,146円	34,212,636円	20,514,375円

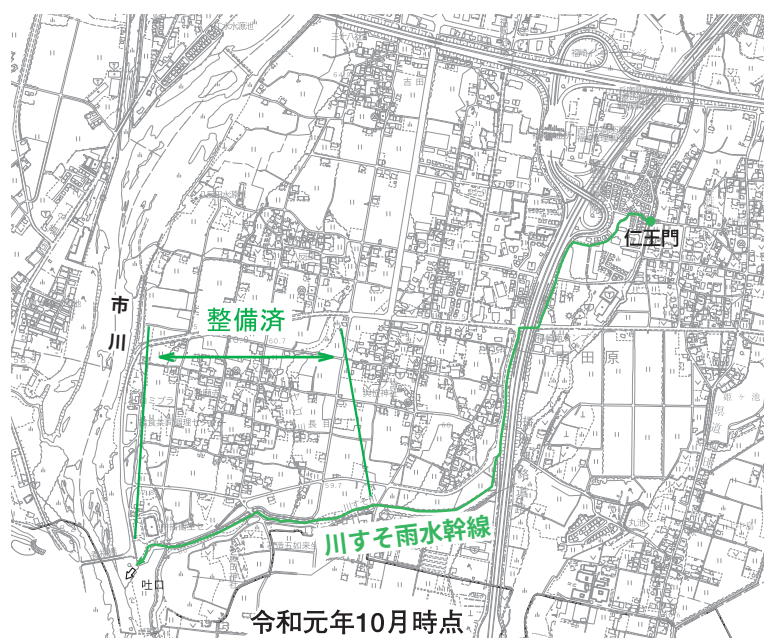
※給水原価の上段は地方公営企業決算状況調査の基準に基づく給水原価、下段は長期前受金戻入を控除して算出した給水原価を表記(平成26年度の会計制度改正によるもの)。

下水道事業会計

川すそ雨水幹線工事は、平成30年度決算において「昨年度に引き続き実施し」となっているが、「9月11日の集中豪雨で中島区の6軒が床下浸水」との報告があったところである。常に浸水しているのに現場工事は今も止まったままである。事業スピードが遅すぎる。たとえ1メートルでも前へ進められたい。

公営企業管理者

つい先日、関係者との交渉の目的が立ったため、平成30年度繰越分の本体工事にとりかかります。それに合わせて上流部の令和元年度工事につきましても10月に入札し、進めていきます。



整備済



未整備

川すそ雨水幹線

教育委員会委員 石川治氏の選任に同意



住所 福崎町福崎新
任期 令和元年10月1日から
4年間



教育委員会委員とは

首長が議会の同意を得て任命します。非常勤で、任期は4年です。

月1～2回の定例会などで教育行政の重要事項や基本方針を合議制で決定します。

学校教育課長
県下では明石市、三木市、高砂市、加西市、佐用町が免除するとしていますが、それ以外の自治体では国の基準のとおり徴収するとしています。

学校教育課長
0歳児から2歳児の保育料に変更はないのか。
今回は住民税非課税世帯の無償化があるほか変更はありません。

保育料は無償化となるが食費は対象外となるため、新たに副食費を徴収することだが、これを徴収しない自治体はあるのか。

学校教育課長
1回40円とし、月額800円から900円で検討しています。

幼児教育・保育の無償化の実施にあたり、国の基準の改正に伴い食事の提供に要する費用の取り扱い等が10月1日から変更となります。

幼児教育・保育の無償化と副食費の徴収

おやつ費用についてはどうか。

第30期(株)もちむぎ食品センター 決算状況 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(単位:円)

売上高	175,427,668
売上総利益	69,614,941
営業利益	1,760,695
経常利益	16,420,627
税引前当期純利益	16,420,627
当期純利益	10,946,779

副食費の徴収額について

○1号認定(幼稚園等)

	令和元年10月以降		
町民税所得割課税額	第1子	第2子	第3子以降
77,101円未満	無償	無償	無償
77,101円以上	2,900円	2,900円	無償

※第3子以降とは、小学校3年生の子どもから数えて3人目以降

○2号認定(保育所等)

	令和元年10月以降		
町民税所得割課税額	第1子	第2子	第3子以降
57,700円未満(ひとり親世帯等は77,101円未満)	無償	無償	無償
57,700円以上(ひとり親世帯等は77,101円以上)	4,200円	4,200円	無償

※第3子以降とは、小学校就学前の子どもから数えて3人目以降

※2号認定の副食費は月曜日～金曜日が3,600円、月曜日～土曜日が4,200円

補正予算の主な内容

橋梁工事費	3600万円
税還付金	2000万円
福崎町・姫路市連携コミュニティバス運行社会実験委託料	1150万円
トレーニング機器購入費(体育館)	500万円
文珠荘改修工事実施設計業務委託料	420万円
風しん抗体検査・予防接種・システム改修委託料	388万円
橋梁設計等委託料	360万円
林道(小滝線・七種線)橋点検等委託料	85万円

一般会計補正予算(第3号)は、歳入歳出それぞれ9460万円を増額し、補正後の予算総額を83億1190万円としました。
主な補正内容は次のとおりです。

令和元年度 一般会計補正予算

大庄屋三木家住宅
(主屋以外)

辻川界隈歴史・文化館
(旧辻川郵便局)

飲食・宿泊施設として活用 (株)PAGEが管理運営

(株)PAGEを選定した理由

- ・駅前観光交流センター・辻川観光交流センターと合わせた「4施設の一体的な管理・運営」を行うことにより、地域資源のネットワーク化・駅前地区と辻川地区の連携による相乗効果が期待できる。
- ・一般社団法人ノオトと(株)神戸新聞社は、福崎町文化観光まちづくり協議会の委員として一年間にわたり町とともに各施設の利活用方策について検討してきた。
- ・町の都市再生推進法人（まちづくり分野において行政の補完的機能を担う団体）である。
- ・(株)PAGEの構成員である一般社団法人ノオトは古民家や文化財の活用において実績が豊富かつ国と共に検討を進める有識者である。
- ・(株)PAGEの構成員である(株)神戸新聞社は情報発信や旅行事業の実績が豊富である。

指定管理期間の考え方

指定管理者が初期投資費を負担するため、その回収に必要な運営期間として21年6ヶ月間とした。

① 大庄屋三木家住宅



管理運営の基本方針

① 大庄屋三木家住宅（主屋以外）

文化財の価値を生かした宿泊施設として運営し、レストランでは周辺地域の食材を生かし、食文化の新たな創造に取り組む。

② 辻川界限・文化館（旧辻川郵便局）

カフェと宿泊施設として運営することで観光客を呼び込む。

主な質疑

自分たちの事業を優先し、許可なく勝手なことをされるといふことはないのか。

技監

あくまでも指定管理者制度では町が事業主体で、事業者は条例や規則で定められた範囲で運営します。料金や開館時間の変更など、全て町長の承認制であり、町の許可なく勝手なことはできません。

文化財を利用する宿泊施設である。火災リスクにはどのように対応するのか。

技監

施設運営に必要な有資格者、経験者等を中心に、旅館業法に基づき適正に人員を配置するとともに、危機管理体制を構築し、平時からの訓練や施設点検、定期的な防火訓練などを行うことになっていきます。

防火訓練の実施状況などは確認されるのか。

三木家は町にとって大きな財産である。防火対策が確実に実施されるよう監督してもらいたい。

町長

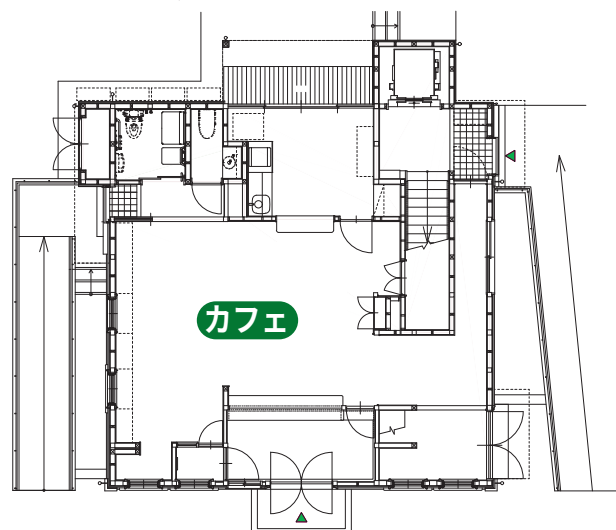
三木家は県の重要文化財であり、町にとっても重要な財産です。確実な防火管理を監督し、火災が絶対に起こらないよう努めます。

2F 宿泊施設



② 辻川界限 歴史・文化館 (旧辻川郵便局)

1F ブックカフェ



①②とも 開館時間と休館日

○開館時間 終日

○休館日 なし

※オープンは
令和2年10月(予定)

監査委員の監査意見（要旨）

審査に付された各会計決算書等の記載事項は法令に適合しており、計数は正確であると認めました。なお、事務処理は、その一部については監査等で指摘していますが、おおむね良好であると認めました。

健全化判断比率は、いずれの指標も基準値を下回り、おおむね良好であると言えます。しかし、中長期的には取り組むべき様々な課題が山積しています。事業実施にあたってはそれぞれの比率を念頭に置きながら適切に進めてください。今後も長期にわたって持続可能な財政運営を求めます。

〈監査委員〉 鳥岡 照義
河嶋 重一郎

健全化判断比率(%)			
区 分	平成30年度 決算	早期健全化 基準	財政再生 基準
実 質 赤 字 比 率	—	14.83	20.0
連結実質赤字比率	—	19.83	30.0
実質公債費比率	11.0	25.0	35.0
将 来 負 担 比 率	127.9	350.0	—

下水道施設の改築に係る国庫補助制度の維持、拡大を求める意見書を提出（要旨）

国の平成31年度予算では、浸水対策及び未普及対策等に国庫補助が重点配分され、老朽化した污水处理施設の改築への国庫補助が削減されている。

今後も削減が続くと、一般会計繰入金や下水道使用料の増額改定により必要な財源を賄わざるを得ず、財源が確保できなかった場合には町民生活に重大な影響を及ぼす事態の発生も懸念される。

将来にわたって下水道サービスを確実に提供し、自然災害への備えを強化するため、意見書を提出する。

1. 下水道施設の改築に係る国庫補助制度の維持・拡大を図ること。
2. 下水道施設の老朽化対策や、南海トラフ地震や巨大台風をはじめとする自然災害に備える防災・減災対策等に必要な予算を確保すること。

〈提出先〉

国会、政府関係機関

平成30年度国民健康保険事業特別会計 歳入歳出決算認定

反対討論（要旨）

小林 博

平成30年度は、国民健康保険事業が都道府県営化された最初の年度です。

福崎町は、住民の生活と命・健康を守るための努力を、町を挙げて進めてきました。県営化はその努力を水泡に帰させるものです。今後、一層の県内統一の方向が強まり、町の自主性を奪うことが心配されます。当該年度は国保税の引き上げという結果を招きました。抗議の意味を込めて、認定反対の表明をいたします。

これからも福崎町は地方自治の精神を発揮し、町民の命と暮らし、健康を守る姿勢を堅持されることを求め、討論いたします。



議案の審議結果

全員賛成で同意・可決した議案

	議案名	概要
報告	第30期株式会社もちむぎ食品センター決算報告	売上高1億7542万円 当期純利益1094万円
	平成30年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告	
	議会の委任による専決処分の報告（学校施設空調設備設置工事）	558万円の減額 （事業量の減）
人事	教育委員会委員の任命	石川治氏を再任
条例制定	福崎町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定	町の非常勤職員が会計年度任用職員となることに伴う制定
条例改正	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	上記に関連する13条例を改正
	福崎町情報公開条例及び福崎町個人情報保護条例の一部を改正する条例	要配慮個人情報の取り扱い等についての改正
	福崎町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	連帯保証人の居住要件を「町内」から「県内」にする改正
	福崎町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	申請すれば印鑑登録証明書にも旧氏を併記できるようにする改正
	福崎町手数料条例の一部を改正する条例	介護予防支援計画及び介護予防マネジメント手数料の改正
	福崎町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	災害援護資金の貸付利率等を改正
	福崎駅前広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	10月1日の消費税率改正が反映しないようにする改正
	福崎町水道事業給水条例の一部を改正する条例	指定給水装置工事事業者の新規指定及び更新に係る手数料を15000円とする改正
	福崎町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	食事の提供に要する費用の取り扱い等を改正
	福崎町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴う改正
その他	大庄屋三木家住宅及び福崎町辻川界限歴史・文化館の指定管理者の指定	(株)PAGEを指定
	水道事業剰余金処分	未処分利益剰余金 2億3982万円を資本金へ
	道路線の廃止及び認定	3級377号線を廃止（福崎新） 2級2363号線を認定（福崎新）
令和元年度 補正予算	一般会計補正予算（第3号）	9460万円の増額
	国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	3100万円の増額
	介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	540万円の増額
平成30年度 決算認定	一般会計歳入歳出決算	水道事業会計決算
	後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	工業用水道事業会計決算
	介護保険事業特別会計歳入歳出決算	下水道事業会計決算
委員会提案 意見書	下水道施設の改築に係る国庫補助制度の維持、拡大を求める意見書	

賛否の分かれた議案

議案名	賛否	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
		河嶋重一郎	松岡秀人	三輪一朝	山口純	小林博	石野光市	木村いづみ	竹本繁夫	柴田幹夫	富田昭市	高井國年	城谷英之	前川裕量	北山孝彦
平成30年度 決算認定	賛成	10	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	—
	反対	3				●	●	●							—

注1 北山議長は賛否同数の採決以外は採決に加わりません。

10月から幼児教育・保育の無償化、給食費は保護者負担

10月1日から、3歳児～5歳児の児童、住民税非課税世帯の0歳児～2歳児の教育・保育施設等の保育料が無償となります。しかし、無償化の対象となるのは保育料のみで、こども園の給食の材料にかかる費用（給食費）については、自宅で子育てを行う場合も同様にかかる費

用のため、こども園等を利用する保護者も自ら自宅で子育てを行う保護者と同様に、その費用を負担することとなります。

無償化後も引き続き、通園送迎費、保育用品、行事費、食材料費等は保護者負担となります。

現 行			無償化後	
1号認定 (幼稚園等)		2号認定 (保育所等)	1・2号認定 (共通化)	
保護者 負担	保育料	保育料	無償化(給付)	
	副食費	実 費	実 費	
	主食費	実費(持参)	実費(持参)	
※副食費・・・食材料費、牛乳代など			保護者 負担	

庁舎総合窓口カウンターを更新

個人情報保護に配慮し、税務課から住民生活課までのカウンターが9月中旬に更新されました。安心して相談できる窓口になりました。

落札業者 有限会社ふじおか
金 額 561万6000円（税込）

委 員 員	委 員 員	委 員 員	委 員 員	副 委 員 長	委 員 長
松 岡	前 川	高 井	城 谷	石 野	木 村
秀 人	裕 量	國 年	英 之	光 市	山 口
				い づ み	純



福崎町橋梁長寿命化修繕計画を更新

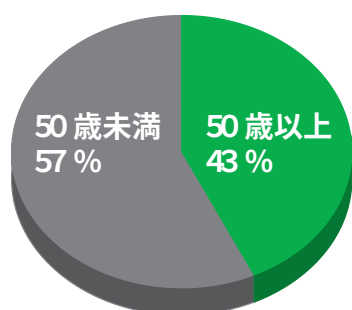
福崎町橋梁長寿命化計画は安全で快適に使い続けられる橋梁を目指して平成 25 年 3 月に策定されました。

その翌年度の道路法改正に伴い点検方法が近接目視に変更となり、5 年間で町が管理する全橋梁（210 橋）について点検が実施され、その点検結果を反映させた新たな長寿命化計画が平成 31 年 3 月に策定されたため、更新したとの

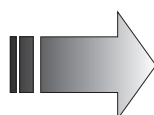
報告がありました。

現在、建設から 50 年を経過する橋梁は全体の約 43 %ですが、20 年後には約 80 %となり、急速に高齢化橋梁が増大します。このような背景から、増大が見込まれる補修・架替えに対応するため、長寿命化計画により予算を平準化し、計画的な補修・架替えにより安全性を確保していくとのことです。

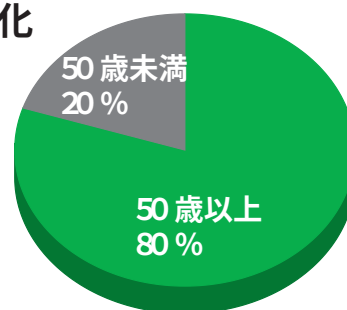
高齢化橋梁の分布の変化



2018年

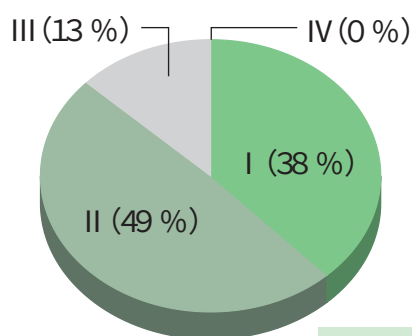


20年後



2038年

点検結果の状況（平成 26 年度～平成 30 年度：全 210 橋）



区分Ⅰ	健	全：約 38 %
区分Ⅱ	予防保全段階	：約 49 %
区分Ⅲ	早期措置段階	：約 13 %
区分Ⅳ	緊急措置段階	：0 %

委員長 小林 博
委員 竹本 繁夫
委員 河嶋 重一郎
委員 北山 孝彦
委員 柴田 幹夫
委員 富田 昭市
委員 三輪 一朝

〈点検結果の概要〉

- ・鋼橋で健全性の判定区分がⅢの橋梁は 8 橋あり、主な損傷内容は桁や支承等の腐食でした。
- ・コンクリート橋で健全性の判定区分がⅢの橋梁は 16 橋あり、主な損傷内容は桁等のひびわれ、剥離・鉄筋露出でした。
- ・下部工で健全性の判定区分がⅢの橋梁は 4 橋あり、主な損傷内容はひびわれ、洗掘でした。

委員長 小林 博
副委員長 城谷 英之

観光交流センターの愛称を決定



フクちゃんプラザ
(福崎駅前観光交流センター)



サキちゃんプラザ
(辻川観光交流センター)

福崎駅周辺整備事業完成記念式典

福崎駅周辺整備事業の完成を祝し、福崎駅前で記念式典が開催されました。

駅前区と馬田区の勇壮な屋台練りも披露され、にぎわいをもたらす駅前周辺への期待感の高まりを感じます。

町長の所信表明にもありましたが、観光交流センターを作って終わりにしてはいけません。今後、どのように活用して駅前周辺ににぎわいをもたらすのかが大きな課題です。

また、駅前への商業施設誘致も大きな課題ですが、これを解決するためには福崎駅の利用率向上や駅前周辺のにぎわいが不可欠となります。

ぜひ、福崎駅前に足を運んでいただき、生まれ変わった福崎駅前をご覧ください。



オープニングを飾る七種太鼓



駅前ににぎわいを

安富町のごみをくれさかクリーンセンターに搬入

委員長 前川 裕量
副委員長 山口 純

姫路市（安富町）は令和元年度末に、にしはりま環境事務組合を脱退し、くれさかクリーンセンターへ安富町のごみを持ち込むことになり

ます。姫路市が合併してから10年以上経過していることもあわせ、くれさかクリーンセンターにかかる分担金等が変更される予定です。

《分担金等の変更》

- ① 事務局費分担金の均等割（30％） 姫路市2：福崎町1→姫路市1：福崎町1に変更
- ② 事務局費分担金の人口割（70％） 安富町人口を追加
- ③ 施設建設費分担金→処理費分担金と同じように「総搬入量で按分」

【参考 令和元年度予算で積算】

（単位：千円）

項 目		変更前		変更後		福崎町増減額
		姫路市	福崎町	姫路市	福崎町	
人 口		36,975 人	19,332 人	42,006 人	19,332 人	
事務局費割	均等割（30％）	15,722	7,861	11,792	11,791	3,930
	人口割（70％）	36,132	18,892	37,682	17,342	△1,550
施設建設費		1,334	666	1,227	773	107
処理費		207,000	133,081	216,047	124,034	△9,047
合 計		260,188	160,500	266,748	153,940	△6,560

くれさかクリーンセンターは令和2年度末をめどに焼却炉を停止します。神崎郡3町のごみ処理施設ができるまでの間、ごみの焼却処理を姫路市の市川美化センターへ事務委託する予定

です。くれさかクリーンセンターを中継し、市川美化センターに搬入する体制とすることが検討されています。

神崎郡ごみ処理施設建設にかかる説明会

神崎郡3町でのごみ処理施設建設にかかる最優先候補地が田口区に決定され、候補地周辺地域で説明会が開催されています。そこでは、いろいろな意見が出ており、住民の皆さんの不安や疑問を払拭できるよう努力をして、ご理解を得てから事業を進めていきたいとの答弁がありました。

ここが聞きたい!

一般質問

7人の議員が町政を問う!

「一般質問」は公の場である議会で行政全般について町長の考え方や町政をただし、議員自らも政策提言を行い政治姿勢を明らかにする大切な場です。質問をする議員は町長に事前に質問内容を通告します。議員の質問(持ち時間)は45分間となっています。質問した議員が原稿を起こし「議会だより」に掲載しています。

通 告 の 内 容

竹 本 繁 夫	①健康づくりの推進について ②医療費について ③防災対策について ④雨水幹線整備について	柴 田 幹 夫	①高齢者運転免許返納について ②庁舎エレベータ設置について ③神崎橋南の市川右岸河川敷の建物撤去の件について
前 川 裕 量	①学習障害(LD)支援について ②区長会要望について	石 野 光 市	①消費税について ②選挙公報について ③医療往診について ④健康増進法における受動喫煙防止対策について
山 口 純	①各団体からの配布文書について ②行政防災無線について ③防犯対策・災害用備蓄品について ④観光事業を包括する組織づくりと、観光地の周辺整備について ⑤eスポーツのクラブ化について	小 林 博	①太陽光発電について ②鳥獣被害対策について ③社会教育施設の充実について ④防災対策について ⑤駅前周辺整備後の課題と取組みについて
三 輪 一 朝	①自治体の改善・改革による事務・業務遂行能力の向上について ②住民の健康と健康づくりポイントについて		



竹本繁夫



川すそ雨水幹線の完成の見込みは

令和6年度末までに完了させる予定です

問 川すそ川流域においては雨が降るたびに不安な状況である。9月11日のゲリラ豪雨で南田原（中島区床下浸水6戸、播但道高架下冠水50cm）の被害が発生している。西光寺区の仁王門下までの排水計画は何年先に完成するのか。

公営企業管理者

令和3年度に福岡南ランプ付近までの工事を完了させる予定です。それと並行して詳細設計に取り掛かります。仁王門下までは令和4年から工事に着手し、3年間で工事を完了させる予定です。



西光寺区内（仁王門下道路）

町ぐるみ健診

問 平成30年度の町ぐるみ健診の受診者数は、また、受診率は県下の中でどのくらいの状況なのか。

健康福祉課長

福岡町の特定健診の受診者数は2164人です。また、県下における受診率は、平成29年度では、特定健診38.4%、18位。肺がん検診35.5%、8位です。

防災対策

問 地震発生時、どのくらいの地震の大きさを町の対策本部が設置されるのか。

総務課長

地域防災計画で災害警戒本部の設置について定めています。通常震度4又は震度5弱の地震を観測した場合に設置します。

問 水害時の水防対策本部の設置についてはどうか。

総務課長

通常、大雨、洪水警報が発令され被害の生じる恐れのある場合に災害警戒本部を設置します。

問 避難指示、避難勧告が発令された場合、どのようにして住民に知らせるのか。

総務課長

防災行政無線やホームページ、メール等で連絡します。

問 防災行政無線では雨、風が激しい時に聞こえないのか。

住民生活課長

個別受信機設置は多額の費用がかかるので困難ですが、今後の課題として検討したい。

こえにくい。個別受信機設置の検討はできないか。

高校3年生までの医療費の無料化について

問 神河町においては昨年度より高校3年生まで医療費の無料化が実施されている。福岡町での該当者の人数と医療費をすべて無料化すれば町の負担はどのくらいか。

健康福祉課長

該当者数は571人です。医療費は、所得制限を設けても年間1000万円以上の負担増となる見込みです。

町長

子育て支援については重要な課題だと考えていますが、今年、入院費の無料化を実施していますので、しばらくはその推移を見守りたいと考えています。

学習障害 (LD) 支援の現状と課題は

認知度が低く、対象者の発見を遅らせています



前川裕量

問 学習障害 (LD) は、本格的な学習に入る小学生頃まで判断が難しく、特定の分野でできないことを除けば発達の遅れは見られないため、「がんばればできる」、「努力が足りない」、「勉強不足」と見過ごされることが多く、支援の必要性が認知されにくく、結果的に子どもの自信の低下につながる。

LD に対する一番の問題点は、この問題に対する周知と理解です。認知度が低く、対象者の発見を遅らせている。教育行政には、率先して周知に努めるよう努力を求める。

そして、LD 児童・生徒に対し、必要な支援を行うためのハード及びソフトの整備・充実が必要である。

読字障害・書字障害・算数障害と大きく分かれ、各障害も多岐に

分類され、人的個別ケアにも限界がみられる。そこで、有効な対策として、IT 活用があげられる。全児童・生徒に対してタブレット化するのがベストだが、早急な対応が困難なため、各クラスに対して数枚のタブレットを支給、もしくはタブレット等の各自持ち込み、積極的な活用を推進していくべきと考えるがどうか。

教育長 まだまだ研修・研究をしていかなければならない現状にあると思います。タブレットの導入に対しては現場の要望もありますので、前向きに取り組んでいきたいと考えています。

区長会要望等について

問 各地区からの要望では、特に道路改修などの補助金においてゼ口回答が多くあると聞く。

多くの住民の方から「福崎駅周辺整備事業等に予算が偏っている」とのご意見も頂いている。

厳しい財政状況であることは承知しているが、各地区の意見を十分に尊重し、たとえ少量でも採択すべきではないのか。

町長

工事を実施する場合には、一定の規模を実施することにより、その事業効果などが発揮されるものだと思っています。そういった観点から、要望箇所についても、ある一定のまとまった区間などを単

位として採択を行っています。各地区ごとにその必要性を検討した上での要望であることは認識していますが、その必要性に加え、緊急性や費用対効果なども鑑みながら、実施箇所についての判断をしています。



学習障害 (LD) の周知と理解を



山口 純



福崎駅前の誘致予定地の現在は

出店に前向きな事業者を（業種問わず）探しています

問 財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例。平成29年に改正されたが、その内容は、

技監

改正の趣旨は、土地の譲渡や貸付についての優遇策を設けることによって、駅前に商業施設の誘致を図ろうというものです。具体的には、地域経済の発展に役立てることを目的に、町長が特に認めた事業に対して、減額譲渡、減額貸付ができることを定めました。

さらに、規則では対象を「福崎駅周辺に食品スーパーマーケット等を誘致する事業」と位置付けております。

また、減額の範囲を「時価の2分の1に相当する額を限度とする。ただし、食品スーパーマーケット等の誘致事業で、収支計画等により更なる減額が必要と認

められる場合はこの限りではない」と定めました。

問 事業者からの問い合わせ、誘致活動の状況は。

技監

事業者からの問い合わせと町からの誘致活動を合わせると、30以上の事業者や団体との交渉を行ってきました。現在は、複数の金融機関の協力も得ながら、出店に前向きな事業者を探しているところで

問 「食品スーパーマーケット等」とあるが、それ以外の業種でも誘致可能か。

技監

規則にある「食品スーパーマーケット」と

は、あくまで例示であり、「等」を付けることによって業種は限定していません。地域経済の活性化に役立つ事業であれば誘致の対象になります。

行ったアンケート調査の結果、男女、職業、年齢に関わらず「コンビニエンスストア」が1位という結果を得ていますので、現在はその中心に誘致活動を行っています。しかし、

町としましては、コンビニだけでなく、例えば、ビジネスホテルの1階が売店といったような形も含め、広い視点で検討を進めています。



誘致予定地。お心当たりのある方はぜひ町にお問い合わせを

住民の健康と健康づくりポイント制度

事業の工夫や見直しを行いたい



三輪一朝

問 医療費削減が国や地方自治体の共通課題であって、住民の健康への意識向上を図り健康寿命をいかに伸ばすか、健康づくりにいかに誘引するかが大きなテーマであり、その手法に、本町と同様に健康ポイント制度を導入している自治体が増加している。

後発の健康ポイント導入自治体では、健康ポイント参加者個々の健康状況、運動状況などのデータを自治体がデータ保有、活用し、科学的根拠にもとづく指導、継続支援を行うに併せ、健康づくりポイント事業の魅力度を増加させ、健康づくりの無関心層を引っ張りだし継続させ、参画する住民数を増加させるなど効果を挙げている。スマートフォンアプリで日々の食事や歩数、睡眠、運動、体重、B

Mーなどを記録し、健康につながる行動や生活習慣がポイントとしてたまっていく。自治体の投下コストを上回る医療費抑制効果があり、1人当たりの医療費抑制効果は60歳台で年間4万円、70歳台は9万円との報告もある。

住民はモチベーションを保ちながら健康管理ができ、自治体は住民の健康状態を性別など様々な層別に可視化できる。

健康づくりポイント事業の魅力を高めるために、健康ポイント付与範囲と利用範囲を拡大する必要性はどうか。

健康福祉課長

今後は健康関連施設等の利用にもポイント付与範囲を拡大するとともに、ポイント利用範囲の拡大も図りたい。

問 住民の老若男女のニーズに応じた目的別健康づくりメニューの設定などにより無関心層を取り込んだうえに住民のニーズに応じた健康ポイント付与に組み替える「住民へのサービスの質の向上」を図ってはどうか。

健康福祉課長

年齢や性別等から健康づくりの目標を設定できるようにするなど、さまざまな世代が楽しく参加いただけるよう検討を加えます。

問 本町は、医療費削減に直結する健康づくりポイント事業について、無関心層の取り込みをどう進めるのか。

健康福祉課長

議員の示された内容は、国保の保険者努力支援制度に直結し、非常に大切です。

ポイントで健康診断が受診でき、病気の早期発見、早期治療、医療費の適正化や、町民自らが健康づくりへの意識向上、行動変革につながることをできるよう、事業の工夫や見直しを行いたいと考えています。

健康づくりメニューの例

	例 ①	例 ②	例 ③
コース名	寝たきりにならないコース	男性コース	女性コース
対象者層	70歳以上の男女	40歳～60歳男性	加齢とともに体型を気にする60歳程度までの女性
目的	寝たきりになりうる要因(脳血管疾患、転倒・骨折、認知症、加齢による心身の老い衰えた状況)の予防	理想の体型をめざす メタボ予防・改善、肥満による生活習慣病の軽減	筋肉を付けながら健康的にバランスの取れた体型を目指しつつ体重を落とす
運動	下肢筋力の強化、膝・腰の痛み予防・軽減し歩行可能な状態づくり	筋肉量を増やし、体脂肪、内臓脂肪を減らす	筋肉量を増やし、体脂肪を減らす
食事	若々しい体を保つための食事摂取	体重を減らしながら筋肉を増やす食事摂取	太りにくく、リバウンドをおこしにくい食事摂取



柴田幹夫

高齢者運転免許返納について

高齢者運転免許自主返納サポート制度の周知を図ります

問 高齢者が運転免許を自主返納する際、高齢者運転免許自主返納サポート制度というものがある。これを利用すればバスやタクシー料金などの割引を受けることができる。この制度により、一人でも多くの自主返納につながることを願う。

兵庫県内の65歳以上の運転免許保有者数は約76万1000人で、全体の22%である。神崎郡内では約9000人である。そのうち、自主返納者は約100人程度だとのことである。

健康福祉課長
令和元年で申し上げますと、4月から8月末までで返納者は48人（9人／月）となっています。平成30年度におきましては73人（6.1人／月）という状況です。

健康福祉課長
平成30年度においては293日運行し年間1万8549人、日平均63人でした。7月から9月にかけては猛暑や悪天候が多かったため、平成29年度の年間1万9244人からは695人減少しています。

問 町内巡回バスの利用状況は。

健康福祉課長

平成30年度においては293日運行し年間1万8549人、日平均63人でした。7月から9月にかけては猛暑や悪天候が多かったため、平成29年度の年間1万9244人からは695人減少しています。

庁舎エレベータ設置について

問 庁舎の建設年度と耐震の状況は。

総務課長

庁舎は昭和50年に建築され、44年が経過しています。耐震工事は平成26年度に実施しました。

問 エレベータ設置について、町の考えは。

町長

耐震工事を実施しておりますので、そのような施設にエレベータが設置できるのか、設置できるのであればどこに設置すればいいのかなどを研究を進めます。

市川右岸河川敷の建物撤去について

問 神崎橋南の市川右岸河川敷の建物撤去交渉はどのように進んでいるのか。

誰もが安心して安全に楽しく遊べるリバーサイドになることが町民の思いである。

まちづくり課長

現時点で5棟の建物が残っています。対象者は5名ですが、そのうち2名は放棄に対し承諾済みです。残る3名の方々には県の担当者を引き続き面談を重ねています。



神崎橋南市川右岸の現在の状況

消費税増税 町の対応は

12月議会で条例提案し来年4月から実施予定です



石野光市

問 消費税は1989年（平成元年）4月に税率3%で導入され、1997年4月に5%、2014年4月に8%と引き上げられてきた。1990年代当時から「90年代不況」、その後「失われた30年」という表現でこの間、消費税導入以前の経済の活力を回復する有効な対策が講じられず、経済の明るい兆しが見られる時期に消費税増税が行われ、本格的な景気回復をはばんできたといえる。

10月からの消費税増税については経済状況が見通しとともによくない時期での実施といえる。住宅使用料は非課税だが、駐車場使用料は課税対象と聞く。町の関係する社会教育施設の使用料など、また町あつせん（指定こみ袋）を含め当局の考え方は。

副町長 今年12月定例会に係る条例案を来年4月からの実施に向け提出することとしています。

住民生活課長

こみ袋は商工会に委託しており、あつせん価格についても一定の引き上げになると思われます。

選挙公報

問 兵庫県はホームページで国政、県知事、県会議員の選挙期間中、選挙公報を公開し、選挙後も「選挙データ集」として公開している。

新聞折り込みでの配布を近年されているが、県のホームページでの公報のページへの案内や希望する人への配布はどうか。

総務課長

選挙期間中、町のホームページから見られるようにすることは検討します。公報が届けば希望者に役場等でお渡しできます。

往診、巡回診療

問 往診してもらえ、医師が減っていると聞く。高齢者を巡回して診察することなどはどうか。

健康福祉課長

町内には16か所の内科診療所があり、内4か所が「かかりつけ医」になっている患者の往診をされています。

高齢患者の同意のもと、医師が行う訪問診療があります。町内2か所と神戸町、加西市の医療機関が福崎町内にも実施エリアとされています。

受動喫煙防止対策

問 来年4月から健康増進法、県の受動喫煙防止条例も本実施となる。

健康福祉課長

町として取り組んできましたが、国の目標（喫煙率12%以下、妊婦と20歳未満0%）に至っておらず、子どもたちの食育にもテーマとして加え、家族、地域にひろがるよう取り組みたいと考えます。

たばこの3大有害成分としてニコチン、タール、一酸化炭素がいられている。自動車内など狭い密室では特に有害だ。9月は厚労省が健康増進推進月間と

定め、禁煙もテーマとしている。町の取り組みは。





小林 博

福崎駅バリアフリー化の実現を

J Rと共に予算確保に努めます

問 賑わいの創出に取り組まれているが、町営駐車場の1時間無料化等はどうか。

技監

人を呼び込む仕掛けが必要であり無料駐車時間の拡大は有効と考えます。

問 町道駅田原線の見直し作業は進んでいるか。

まちづくり課長

県と協議中です。事業化は最短で令和3年度からです。

問 駅バリアフリー化の進捗はどうか。

技監

オリンピック・パラリンピック周辺の駅への予算配分が重点化される関係で近畿運輸局管内には新規事業の予算配分がありません。予算確保に努めます。

太陽光発電

問 自然エネルギーは大切だが防災や環境を無視してはならない。住民も町も再生エネルギーの負担をしている。安全を求める権利はあると思う。高岡地区での大型施設計画の進行はどうか。

まちづくり課長

地元説明会が行われています。地質や動植物の調査は終わったとのこと。本申請はまだです。

問 北ノ岡(西治区)の施設は排水対策等が放置のままか。

まちづくり課長

町との約束が守られず経産省等へ通報する旨を伝えました。10月12日までに完工する文書が提出されました。監視を続けます。

鳥獣被害対策

問 今夏はイノシシ被害を多く聞いた。鳥獣被害の状況と対策はどうか。

農林振興課長

被害面積は今年度7月現在で3.4ha、8月までの駆除依頼は36件です。3年毎に鳥獣被害防止計画を見直し対処しています。

問 猟友会との関係や防護柵の維持など福崎町の実情に合った施策が必要と思うがどうか。

農林振興課長

集落に合った取り組みが重要だと考えます。

社会教育施設の充実

問 スポーツ公園の観戦用ベンチの増設はどうか。

社会教育課長

ベンチは観戦者の状況を見ながら検討していきます。

問 さるびあドームの予約は営利優先で住民の利用に問題が出てくる。その改善はどうか。

教育長

2年以内に新予約方式としたい。来年の4月からならなおよしです。

問 温水プールの要望に添えていくべきと考えがどうか。

町長

様々な検討をします。

防災対策

問 歩行者の安全確保の観点から、神崎大橋西の交差点東西方向に右折信号の要望を聞くがどうか。

まちづくり課長

要望も多く、グリーンベルト等、簡易な対応も含め取り組みます。

住民生活課長

要望していきます。

問 中播消防署の救急車が2台あるが、1台しか動いていないとの声を聞く。姫路市の消防職員の充足率は81%現在、中播消防署は88名の配置だが、不足ではないのか。

住民生活課長

救急車の1台は予備です。人員配置は姫路市との協議になります。

フォトニュース



ガジロウがお出迎え
(JR福崎駅前)



美しく咲き誇る彼岸花
(新町区)

次の定例会は
12月6日 開催予定

本会議・委員会の傍聴に
おこしください。

議会だよりの表紙・フォ
トニュースの写真を皆様か
ら募集します。

応募のお問い合わせは、
下記まで。

町内のお出かけにはぜひサルビア号をご利用ください

決算審査特別委員会で巡回バス「サル
ビア号」のまちなか便に乗車し視察しま
した。町内の移動手段はまだまだ自家用
車が主流ですが、バス利用者は徐々に増
加しているとのこと。

10月から川西便が乗継ぎせず商業施設
へ運行し、買い物バスは一部区間でフリ
ー降車を導入しました。

ますます便利になっていくサルビア号
をぜひご利用ください。



編集後記

酷暑の夏も終わり、9月定例
議会も無事閉会しました。

先日行われた図書館の「キヤ
ンドルナイト」を見に行きまし
た。玄関前やウッドデッキには
職員手作りの500個のエコキャ
ンドルが並んでいました。まも
なく参加者により賑やかに和気
あいあいと点火されました。空
には十五夜お月さん、まわりで
は歌声と楽器のハーモニーと幻
想的なムードの一時を楽しむこ
とができました。来年はぜひ皆
さんも図書館に足を運んでくだ
さいね。どんな秋が待っている
でしょうか。

秋と言えば食欲の秋、スポー
ツの秋、読書の秋などと言われ
ています。

福崎町では毎月29日を「フク
ちゃん読書」の日としています。

秋の夜長を読書で楽しみたいよう
結びに一句

十五夜とキャンドルナイトで 光の和

(松岡秀人)

議会広報常任委員会

委員長	石野光市
副委員長	三輪朝市
委員	柴田幹一
委員	城谷英夫
委員	竹本繁夫
委員	松岡秀人

ふくさき議会だより第152号
令和元年11月7日 発行

発行／兵庫県福崎町議会
編集／議会広報常任委員会

福崎町議会へのお問い合わせ、ご意見ご要望は下記へ

〒679-2280 兵庫県神崎郡福崎町南田原3116-1
TEL (0790) 22-0560 FAX (0790) 22-2342
ホームページ：<http://www.gikai.town.fukusaki.hyogo.jp>

福崎町議会

検索

で検索できます。